映画「鬼滅の刃」、興行収入が歴代1位に

公開中のアニメ映画「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」が興行収入（興収）で歴代１位になった。興収は、映画館への入場料金の合計金額を表す数字で、１月末までに368億円を突破した。新型コロナウイルス感染症の影響で映画全体の興収が落ち込むなか、驚きの記録を打ち立てている。

「劇場版「鬼滅の刃」無限列車編」の上映初日、映画館には朝６時から多くのファンが並んだ＝2020年10月16日、東京都新宿区　©朝日新聞社

■「千と千尋の神隠し」を72日で抜く

原作、アニメ人気にコロナ禍が追い風

「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」は昨年10月16日から全国で公開されて、今年1月31日までに2688万人を動員した。

これまで興収1位だったのは、2001年に公開された宮崎駿監督のアニメ映画「千と千尋の神隠し」だ。興収は316億8千万円で、抜かれることはないだろうと言われていた。ところが、「千と千尋」が300億円の大台を突破するまでに公開から253日かかったのに、「鬼滅」は「千と千尋」を72日目に抜き去るハイペースで観客を集めていった。

理由にはまず、吾峠呼世晴さんが週刊少年ジャンプで連載した漫画「鬼滅の刃」が人気だったことが挙げられる。全部で23巻あるコミックスは1億2千万部以上が売れた。さらにアニメ版が放送されて人気が広がり、その続きの物語をアニメ化した映画版なので、公開前から注目を集めていた。

新型コロナウイルスの感染の広がりから自宅で過ごす人が増えて、漫画やアニメ版がブレークしたという見方もある。

その追い風のなかで迎えた映画版の公開は、映画館が、感染防止のために減らしていた客席をいつも通りに満席にできるように戻したタイミングだった。「大スクリーンで映画を見たい」という気持ちが、がまんの毎日を過ごしていた人たちの中に高まっていた時期と重なったという分析もある。

日本の興行収入ベスト５

順位	作品名	興収（円）	公開（年）
１位	劇場版「鬼滅の刃」無限列車編	368億	2020
２位	千と千尋の神隠し	316億	2001
３位	タイタニック	262億	1997
４位	アナと雪の女王	255億	2014
５位	君の名は。	250億	2016

※１億円未満は切り捨て　　１月末現在、興行通信社調べ

■全体の興収は2000年以降で最低

観客減り、海外の大作公開延期も続く

「ライバル」が減った影響もあるだろう。例年なら公開されている外国の大作が、昨年はコロナのせいで次々に公開延期になった。そのため、複数のスクリーンを持つ映画館「シネコン」が「鬼滅」をたくさん上映できることにつながった。東京では、公開された初めの日に42回も上映したシネコンがあったほどだ。

「映画館が『鬼滅』に全集中」と、セリフをまねたニュースがたくさん流れた。その流行に背中を押されて、劇場に行った人もいる。もちろん、アニメーションの質が高く、家族や仲間を思って闘っていく登場人物たちの描写がすばらしいことが、国民的なヒットにつながった一番の理由だと言われている。

昨年は歴史的なヒット作があった一方で、全体の興収は振るわなかった。今の発表形式に変わった2000年以降で最低の1432億8500万円で、過去最高だった19年から1178億9500万円も減ってしまった。

コロナの影響で観客が減ったのはもちろん、外国の大作が公開されなかった分が興収の減少につながった。再び感染が拡大した今年も、注目作の「シン・エヴァンゲリオン劇場版」や「007／ノー・タイム・トゥ・ダイ」の公開が再延期決定されるなど、先行きが見通せていない。

■解説者
小峰健二
朝日新聞東京本社
文化くらし報道部記者

朝日中高生新聞 2021 年２月 14 日号から

問１　日本の興行収入第４位の作品は何か。

問２　映画が大ヒットした一番の理由は何とされているか。

問３　ここで述べていることに適しているものをすべて選びなさい。

（ア）宮崎駿監督の作品が、これまで興行収入１位だった。
（イ）300 億円の大台突破まで、100 日も満たない日数で達成している。
（ウ）映画が人気になる前から、コミックが売れていた。
（エ）「鬼滅の刃」の映画が大ヒットし、昨年の全体の興行収入は過去最高となった。
（オ）コロナの影響で、注目作の公開延期が続いている。

年　　月　　日（　　）　　年　　組　名前